Kamagaya International Friendship Association

# K·I·F·A Plaza

第9号

1991年3月15日発行
〈発　行〉
鎌ケ谷市国際交流協会
編集・広報部会

## 活動報告　第3回 KIFAパーティー


| | | |
|---|---|---|
| 特別企画 | Internationalで行こう⑥ | 2・3面 |
| 写真特集 | また会いましたね(KIFAパーティー) | 4・5面 |
| 活動報告 | 部会ズーム・アップ。会員登場 | 6面 |
| SAY,"young" | カルチャーショック | 7面 |
| あReこRe | 姉妹都市候補の絞り込みへ。他 | 8面 |

## 世界を結ぶ 顔・顔・顔

'90ＫＩＦＡパーティーに集まったみなさんの中から12人の方を選び、肩を寄せあっていただきました。世界はひとつと語っている顔・顔・顔。

（関連記事４・５面、６面）

特別企画

# Internationalで行こう！

## ⑥ 連載を通読して―4人のご意見

第3号('89年7月15日発行)からこの連載を続けてきました。「①今、若人の国際感覚は」から数えて6回、2年にわたってご愛読いただきましたが、本号でこのシリーズは終了いたします。その総括として今回は「連載を通読して」と題して国際交流に豊かな知識をお持ちの4人の方から読後感をいただきました。

### KIFA活動を通して地球家族の一員に

皆川圭一郎

ＫＩＦＡ Plazaに連載された「Internationalで行こう」は、鎌ケ谷市の国際交流の現状を知る上で素晴らしい企画でした。毎回いろいろな立場の人が登場し、その人たちの生の声で国際交流の意義や問題点、実状が分かりやすく掲載され、鎌ケ谷市民にとっても国際交流が身近なところにあるということが理解できたと思います。

現在、世界はさまざまな問題をかかえ、大きく揺れ動いています。これまで、外交や国際交流は外交官などの〝プロの仕事〟と考えられてきました。しかし、人や物、情報などの流れが加速度的に速くなった現在の国際社会では、私たち一人ひとりが〝地球家族の一員〟として民間外交官の役割を果たしていくことが求められています。

今私たちは、ＫＩＦＡの事業に参加することによって、鎌ケ谷市内に居ながらにして世界の国や人々と接することができ、異なった文化や生活習慣を直接知りうることができるのです。

ＫＩＦＡが設立されて3年。この間、派遣・交流・広報・研修の各部会において、積極的に各種事業が展開されてきました。そして、市内における国際交流は、点から線へとネットワークが形成され、市民レベルの草の根交流として広がりつつあります。ＫＩＦＡによってつくられた確かな土壌に小さな種が芽吹き、蕾をつけることができたのです。これも、会員の皆様の熱意ある活動の賜（たまもの）と深く敬意を表したいと思います。

市といたしましても、ＫＩＦＡと手を携え合って、これらの蕾を大輪の花とし、〝ピープル・トゥ・ピープル〟、人と人、心と心で結ばれた地球家族の関係を築き上げられるよう努力してまいります。そのためにも、一人でも多くの市民が国際交流の輪に参加できるよう、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

（市長・ＫＩＦＡ名誉会長）

### 皆で考えるような次の企画を待っています

藤本　理栄

一体国際交流って何なのでしょうか。このページを読んでふと考えることが多かったテーマです。私は何となく華やかなものを想像してしまうんです。ですが今地球上には170以上もの国があり、外国＝アメリカなんて言ってられないと、先日感じたものです。

実は私はこの企画、とっても好きだったのですが、唯一つ、内容が綺麗（きれい）すぎるんじゃないかなあと思ったことがあります。もちろん、内容は事実なのですが、その裏に汚いというと語弊がありますが、そのような部分があると思うんです。具体例を上手くあげられないのが残念ですが、その辺りをもっとさらけ出してもよかったのでは、と思います。

「交流」を辞書でひくと、「異なる組織・系統に属するものの間に、人の行き来や交渉が行われること」とあります。今、日本をＡ、諸外国をＢとすると、Ｂが西欧であると、日本はＡ（自分）を無理矢理Ｂにしようとして、Ｂ′としてＢと交際しようとし、Ｂがアジアなどだと、Ｂ（相手）をＡにしようとする雰囲気があると思います。日本人と西洋人の社交をみると特に感じますが、それでも交際せずにいられないのが日本全体の現状です。私達が「あの人はフォークやナイフが使えない」と批評して得意になるのは何のことはない、西洋文化の方が強いからなのだと思います。私は日本本位であれ、というのではありません。そうではなくて、長い年月とたくさんの人々を経て発酵してきた西洋文化を上っ面だけなめて、お飾りの西洋文化をぶら下げてまでＢ′になろうとするのではなく、日本の内で自然に発酵してきた日本を身からしみ出させた私達がＡであってはじめて、国際交流Ａ⇄Ｂが成り立つんじゃないかなと思うのです。鎌ケ谷市が姉妹都市と提携したら、鎌ケ谷の特色を出せるよう期待します。そしてまた皆が考えてしまうような企画、待ってまーす。

（筆者は高校在学中、姉妹都市調査プロジェクトチームのメンバー）

## KIFA Plazaの特別企画はどれもおいしい

秋山　秀一

「ドイツの食事のまずさは、どうやら本当のようではあります」

ドイツ・フランクフルトの大学に、昨年の夏より、在外研究のために出かけている友人から届いた便りに、こう記してあった。また、国際派の文化人として知られる加藤周一、筑紫哲也両氏の〝食の文化〟についての対談に、こうあった（朝日ジャーナル　1988年３月18日）。

**筑紫**　「ぼくにいわせれば、あのアングロサクソンのまずい酒をうまいと思っている人たちというのは、そうとう味覚はひどいな。ウイスキーとビールという……。」

**加藤**　「酒の習慣だけじゃなくて、パンも。あの食パン。だいいち『食パン』という日本語は変でしょう（笑い）。とにかく英国には、実際にああいうパンはあります。手の中でこうやると、つぶれちゃうようなね。あれはヨーロッパのパンの中で最もまずいパンじゃないでしょうか。ドイツには、もっといいパンがいくらでもある。」

パンや御飯がおいしいと、食事全体がうまいと感じるもの。では、ドイツの食事はおいしいの？それとも、まずいの？　うまいまずいは本人の嗜好によるところが大きい。ちなみに、味が変わると、「へえーこういう味もあるのか」と、何でも楽しんでしまうため、私は、まずいと感じたことはめったにない。ただし、本物の味へのこだわりは強い。それは、今流行のグルメとは全く無縁のものであるが……。ＫＩＦＡ Plazaの特別企画はどれも、おいしい。とくに若い人（年齢ではない）の感覚と田中おばあちゃんのような感覚が。自分が感じたものを大切に、しかも間口を広げて、が、いい。ここに登場した人の言葉に、ウンウンと、どれも納得。おいしいビールの後にウイスキーを飲みながら、再読。

（ＫＩＦＡ副会長。日本旅行作家協会会員）

## 市制20周年を機にぜひ将来ビジョンを

佐藤　肇

〝Internationalで行こう〟をＫＩＦＡの会員の立場で冷静な目で読ませていただきました。そして市内の国際交流の実態や問題点を垣間見ることができました。

今や日本は世界の経済大国ともてはやされている反面、国際化という面では大分遅れているようです。政治経済はもちろん私達の日常生活も外国人との接触なくしては成り立たない時代になりました。鎌ケ谷市も例外ではありません。相当数の外国の方が当市に住んでおられますが、それらの外国の方々に対する市の行政面を充実させることが急務ではないでしょうか。

▲ＫＩＦＡの活動は年々盛んになっていく。

当市の国際交流協会も設立以来目ざましい活躍をしていますが、その活動が無報酬で自分の時間と仕事を犠牲にしてボランティア活動に献身しておられるごく僅かの人達の奉仕の上に成り立っていることを考える時、ＫＩＦＡの今後の活動にもおのずから限界が見えてきているような気がします。幸い、ＫＩＦＡは近い将来財団法人化する計画があるとのこと、財団法人となれば半官半民の中立的公益法人となり、現在のＫＩＦＡの体質が改善されると思います。

一方姉妹都市の問題では、市役所主導でゆくか、市民主導でゆくか議論されていますが、私はどちらが主導的立場をとるかは問題でなく両者は車の両輪の立場にあり、要はそのスタッフにどれだけ適材適所の人材を集めることができるかだと思います。船頭多くして船山に登ることのないようお願いしたい。フジヤマ、カブキ、着物、折り紙等を紹介することが国際交流である時代は過ぎました。私は鎌ケ谷市20周年を機に次の２件を将来のビジョンに入れていただきたい。

１、市役所に国際課を設置し、渉外国行政を担当する。

２、欧米諸国に見られるアダルト・スクールを設置し異文化交流の常設教育機関とする。

（筆者は研修部会で活躍中、また昨年の海外派遣のリーダー）

－A－

# コンニチワ
# また会

## ――第3回ＫＩＦ

－B－

〝一層の交流を〟と開会の

－C－

第３回ＫＩＦＡパーティーは11月25日、市役所
国人50名）の参加者は、交流部会の日本文化
際交流の一日となりました。今年は昨年、一
ニチワ、また会いましたね〟というあいさつ

写真Ａ　ぎこちない手つきで日本文化の吸収
写真Ｂ　「これ、なんでしょう」「どれどれ」
写真Ｃ　自国の民謡「ペンノレ（漁夫の歌）」
写真Ｄ　「こんな記事がのっているんですよ
写真Ｅ　「できました。できました」――完
写真Ｆ　特産の「梨ワイン」に〝ワンダフル

# 会いましたね

## Aパーティー ——

—D—

あいさつをする澁谷顧問

—E—

5階で盛大に行われました。170名（うち外
十分とり入れた企画を楽しみ、実のある国
年に続いて参加した外国の方も多く〝コン
があちらこちらで聞かれました。

という交流のグループがあちこちに。
を歌う韓国の人々。
とKIFA Plazaを紹介する会員。
成した〝福笑い〟に大喜びの韓国のコンビ。
を連発する外国からの参加者。

—F—

# 〝ハートで語り合っている！〟会場の風景に大きなよろこび

## 交流部会

'90年度のＫＩＦＡパーティーは11月25日に盛大に開催されました。「福笑い」など日本固有のゲームも行われて、外国の方も大いに楽しんだものとなりました。担当した交流部会の皆さんのご苦労は大変なもの。そこで佐々木翠さんに代表していただいて話しをうかがいました。

「約170名（内50名の外国人）の参加者で３年続けて来た方も多く、留学生の中にも『３回続けて参加しています』という方がいて、うれしいことでした」

「会場内での人の動きが活発でしたね。あちこちで談笑される姿が多く、メモや名刺の交換など和やかな交流風景が随所に見られました。パーティー終了後も話がはずんでいるグループがいくつかあって、積極的に交流する姿に〝ハートで語り合っている！〟の実感がわき、企画した者として、すごく喜んでいます。この盛況も参加いただいた多くの方々のご協力のおかげだと交流部会員一同、心からお礼申しあげます」

交流部会のみなさん、本当にご苦労さまでした。

▲交流部会（２月17日　於中央公民館）

## 会員登場…小川郷美さん

### ひとりでホームステイしてみたい

今回の会員登場は、英語会話上級クラスで頑張っている唯一の高校生、小川郷美（さとみ）さんです。

小川さんは、船橋旭高等学校の１年生。学校では卓球部に所属し、練習に励んでいます。そんな小川さんが国際交流に目を向けるようになったのは、一昨年、オレゴン州から来た高校生のホームステイ受け入れをしたことがきっかけでした。このホームステイ受け入れのパーティーに参加した時楽しかったことと、母親の勧めもあって、友人と共にＫＩＦＡに入会しました。

はじめてのホームステイ受け入れは、家族の中に特に英語にたけている人がいなくて、お互いに通じ合うのが難しかったそうです。それからは、家族中で英語を話せるようになろうと頑張っているという話です。

去年、小川さんのお母さんは、一昨年のホームステイ受け入れをした高校生の住むオレゴン州に２週間程行ってきました。今度は自分がこの夏にひとりでどこかの国へホームステイしたいと考えているのだそうです。

今回、英語会話上級を選んだのは、そんないきさつがあったことと、講師がバーク先生だと知ったからです。バーク先生は、小川さんが中学生の時に、１～２週間ほど英語を教えに来てくれて、その授業が楽しかった思い出があったからです。英語会話クラスには、毎回欠かさず出席しています。難しくて聞きとれないこともあるけれど、出席して英語をきくだけでも良いし、英語になれることは大切な事だと思って続けている小川さんは、なかなかの頑張り屋さんです。

英語会話のクラスでは、小川さんはちょっぴりシャイで、おとなしく見えますが、大学生や大人の中で一生懸命学ぶ姿は、きらきらしています。

わたしたちもＫＩＦＡの事業に協力しています

持ち運び自由 NTT
家族みんなのコードレスホン
ＮＴＴ鎌ヶ谷支店
☎0474－45－1500

もっと楽しく、いい食、住
京葉ガス㈱
鎌ヶ谷支店
鎌ケ谷市東初富４－36－15
☎0474－45－8211㈹

# カルチャーショック

再び登場、カルチャーショックです。

前回（第６号参照）では、身近なでき事をピックアップしましたが、今回は〝ちょっと街へでた〟気分でいってみましょう。

**オーストラリアにて**

○駅などのエスカレーターには必ず〝Keep Left〟と標示されている。普通にエスカレーターを利用する人は左側に立ち、急いで行く人は右側を歩く。ここではそれがきちんと守られていて、急いでいてもどんどん前に進めてとても便利だった。（Ｓ．Ｗ）

○家族でドライブした時のこと。現地の人に〝○○はどこか？〟と尋ねたら〝もうすぐだ〟との返事。看板にも矢印がでていたので、その通りに行ったが、なかなか着かない。不安になって地図で確かめたら、まだまだとんでもないぐらい先だった。感覚の違いなんだろうけど、それにしても……。（Ｒ．Ｆ）

**ドイツにて**

○この国は、必ず都市の中心部に中心駅がある。そして、そこから放射線状に鉄道が走り、さらにその鉄道の間をバスや路線電車でつないである。鉄道の発車時刻もきまった間隔で、しかも覚えやすいようになっていた。例えば４時台なら、４時５分、４時15分、４時25分といったぐあい。本数もちょうどいいぐらいあり、旅行者にもわかりやすくて便利だった。（Ｙ．Ｈ）

**フランスにて**

○自動販売機なんてめずらしくもないけれど、ここにはなんと、ネクタイピンとネックレスの自動販売機があった。ネクタイピンは２種類、ネックレスは７種類ぐらい。ファッションの国と言われるだけのことはあるが、それにしても一体誰が買うのだろうか？（Ｓ．Ｗ）

**エジプトにて**

○ここではどうやらお財布というものが存在しないらしい。一体どうやってお金を持ち運ぶのかと思ったら、頭の上に乗せて帽子をかぶったり、体に紙幣を貼りつけたりするんだそうな。蒸し暑い気候で汗ばむから〝体に貼りつける〟という技が使えるらしい。エジプトに行けば、お金の洋服を来た人に会えるかもしれない？（Ｙ．Ｓ）

**オーストリアにて**

○東欧の共産主義崩壊の影響で、チェコスロバキアなどの移民が大量に流入し、オーストリア難民収容所はパンク状態だった。税金で移民者達をまかなっているが、まかないきれない。ライン川沿いのフリーマーケットではそうした移民者達が、自分達の使っていた日用品や衣服を売っている姿をよくみかけた。時代が変わりつつあることを〝生〟で感じた所だった。（Ｙ．Ｈ）

**アメリカにて**

○ステイ先の街は道路が広くてきれいだった！道路にごみ箱が設置されていたからだと思うのだけれど、あまりのきれいさに感心してしまった。ある日ホストマザーに〝アメリカのどんなとこが好き？〟ときかれて〝道路かな〟と答えたら笑われてしまった。でも日本の道路事情を考えると、見ならってほしいと思います。（Ｈ．Ｙ）

**ホンコンにて**

○高層ビルの立ち並ぶこの街は、いたるところでビルの新築やら改築が行なわれていた。ある時、ふと工事現場をながめると……むむ！足場に使っているのは竹ではないか。ガイドさんの話によると中国産の竹を使用しているとのこと。何メートルもの高さに組み上げられた天然素材の内側で鉄筋の建築物ができ上がっていくさまは、何とも不思議な光景だった。（Ｍ．Ｇ）

以上、カルチャーショックでした。皆さんも面白い話しがあったら、ぜひ教えて下さいね。待ってます。

わたしたちもＫＩＦＡの事業に協力しています

愛されて20年
東葛の 肉まん あんまん カレーまん
**東葛食品㈱**
鎌ケ谷市東初富１－５－32
☎０４７４－４４－１２１１㈹

**㈲エース工業**
〈プラスチック事業部〉各種プラスチック製品・企画・製造・販売
〈新規事業部〉水と燃費と手間を省く温浴器〝ゆ～ゆ極楽〟販売総代理店
・御希望の折はカタログ送付致します。
鎌ケ谷市東初富１－７－２
☎0474－46－1177㈹ ＦＡＸ46－0546

## 姉妹都市調査!!
## いよいよ具体的候補都市の絞り込みへ

Sister City 〃

鎌ケ谷市国際交流協会姉妹都市調査プロジェクトチームは、現在まで皆さんからお寄せいただいた意見や市内各団体より回答いただいたアンケートを参考とさせていただきながら、調査研究を進めてまいりました。

これまでに各視点からの検討を踏まえ、次の基準により、第一段階の絞り込みを行いました。

・英語を主要な公用語とする国の都市
（現在の日本で大多数の人が義務教育段階で学ぶ語学で、日常生活においても耳にする機会の多いのは、英語である）

・対等な立場で交流が図れる国の都市
（鎌ケ谷市にとって、最初の姉妹都市提携となるため、フィフティ・フィフティの関係で交流が図れることが重要である。そのためには、経済力のあまりかけ離れていない国の都市が望ましい）

・まちづくりファミリーアンケートの結果とあまり離反しない国の都市
（真の国際交流の担い手は、市民の皆さんです。よって、市民の皆さんに関心を持ってもらえる国の都市と姉妹都市提携を実現することにより、長く幅広い交流ができるものと考えられる）

以上の諸点から、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの４ケ国から姉妹都市提携候補をピックアップすることになりました。

現在は、第二段階の絞り込みをするため、４ケ国の多くの都市の概要調査を進めています。

次回のＫＩＦＡ Plazaでは、具体的な都市名も報告することができるよう精一杯、調査を続けていきたいと考えています。

会員の皆様で、４ケ国のなかで〝この都市こそが、鎌ケ谷市の姉妹都市にふさわしい〟と思われる都市がございましたら、協会事務局へご連絡ください。お待ちしています。

**会員資格更新手続きのお願い**

会員の皆様、今年度中は各種事業への積極的なご協力、ご参加をいただきましてありがとうございました。1991年度も皆様に満足をしていただける事業を各部会において企画中でございます。

さて、1991年度の会員資格更新の手続きは、４月１日より受付をいたします。協会の事業は、皆様一人ひとりの力により支えられていますので、よろしくお願いいたします。（詳細は事務局へお問い合わせください）

事務局：鎌ケ谷市役所企画課内
ＴＥＬ．０４７４－４５－１１４１　内線５５０

Plaza あRe こRe Plaza

## 楽しい上級クラス
### 研修部会英語会話講座

研修部会では英語会話講座の中に、今年度から上級クラスを開設しました。上級とは一体どんな勉強をするのだろうかと、１月のある日、一緒に参加してみました。

その日は「Room mates」と題して、自分に一番ぴったりの同室者を探すゲームを取り入れた授業でした。約20名の生徒さんは、しばらく席を離れて相手探しに大わらわ。もちろん英語で「Do you smoke?」など質問して好みに合う人を見付け出します。講師のスティーヴン・バークさんもゲームの仲間に入って大変楽しそうでした。そのあと、教科書を朗読して、あっという間に１時間30分の授業が終わりました。

「このクラスは皆さんハイレベルで、とても気持よく授業が進められます。この人達を教えることができて、すごく幸せです。もし機会があれば、もう１年上級クラスをやってみたい」とバークさんは話してくれました。

▲席を離れて相手探しに大わらわ。（中央がバーク講師）

**プラザの泉**

The duty of the citizens in each Sate is to get more mutual touch and sympathy with those of other States, through interest in their history and doings, and through interchange of visits.
（BADEN POWELL）

各国の国民たちのつとめは、他の国の歴史や習慣に興味をもったり、訪問しあって交流を盛んにし、他の国々への思いやりをもっと深くすることにある。

## 編集後記

☆ついに戦争が始まってしまいました。本号の表紙はパーティーに参加した人を結んでＫＩＦＡの平和への願いを表してみました。早く戦争が終わってほしいな。☆国際感覚とはなんぞや？――平凡な疑問から出発した特別企画〝Internationalで行こう〟も回を重ねること６回、本号で一応幕を閉じる。ご協力いただいた多くの方に感謝。それにしても月日のたつのは早いもの。

（原稿提出時点）